

明治8年(1875年)開校 令和6年(2024年)150年目

日奈久っ子

守る伝えるなが
日奈久



八代市立日奈久小学校
学校便り 第6号
令和6年7月19日発行
文責 村山

笑顔いっぱい やる気いっぱい 元気いっぱい

戦時中の学校生活についてのお話

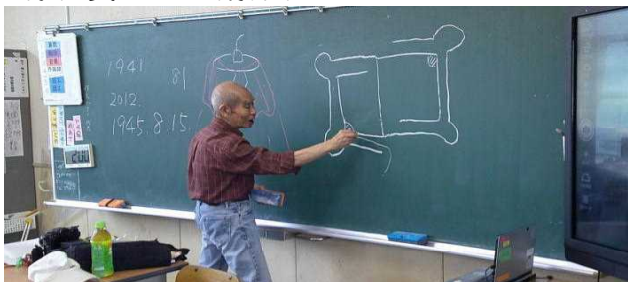
昭和20年(1945年)の終戦から、本年度79年となります。戦争のことや当時の学校生活について、直接体験された方からお話を聞く機会を設けることが難しくなっています。

今年度は、本校卒業生で、塩南町にお住まいの甲田智之様(86)にご無理を申し上げ、7月16日に、当時の学校生活について、小学校6年生にご講話をいただきました。

戦時中は、日奈久小学校へ通っておられた頃の学習や運動場が畑になったこと、沖縄から疎開していた小学生のことなど、今の子供たちには想像もつかないようなことをお話いただきました。

子供たちも直接戦争を体験された方のお話を聞くことで、平和の大切さを感じていたようです。

甲田様、貴重なご講話、ありがとうございました。



複式学級授業の授業研究会

本年度から複式学級となり、複式学級担任の田中教諭・笹尾教諭は日々様々な計画や準備を行い、授業に臨んでいます。また、学校全体で複式の授業の方法等について、校内研修を行っています。

10日(水)に、笹尾教諭の4,5年生算数の授業を全職員で参観し、学習会を行いました。子供たちは、学習の進め方を理解して、主体的に子供同士で学び合いをする場面が多く見られました。



知識を与えてもらうだけでなく、自ら考え伝えたり、他者の意見を聞いたりするなど、主体的で対話的な学習が、現代の子供たちには求められています。複式の授業は、子供たちが主体性を身に付けて学習に向かう力を高めていくことが大切です。このことで子供たちは、成長していくと思っています。



さて、今回の授業には、八代市内で同じく複式学級がある小学校の先生方の参観もありました。研究会もいっしょに行いました。今後も、共に学んでいきたいと思っています。



充実した夏休みを

本日で、1学期が終了します。1学期は新しい学年や教科、複式学級での学習、また小中合同運動会、合同水泳学習など、様々な活動に意欲的に取り組んできました。1年生は初めての小学校生活でしたが、毎日元気に学習していました。

さて、本校児童は、「笑顔いっぱい(豊かな心) やる気いっぱい(確かな学力) 元気いっぱい(健やかな体)」を目標に、各学級ごとに意欲的に学習に取り組まれました。日奈久の子供は、本当に頑張り屋さんが多く、頼りがいがあります。

さて、いよいよ夏休みに入ります。今年は、37日間の休みです。学校中心の生活から、家庭生活中心となります。夏休みは、家庭教育による大きな期間であり、様々なチャレンジができる時間です。充実した夏休みになりますよう、ご家庭で暮らし方等を話し合われるなど、ご指導をよろしくお願いいたします。

一回り大きくなった子供たちに8月26日(月)に会うことを楽しみにしています。